

令和7年度 第65回長野県吹奏楽コンクール 高等学校部門開催要項

高文連吹奏楽専門部

1 主催団体等

主催：長野県高等学校文化連盟、長野県吹奏楽連盟、朝日新聞社

主管：長野県高等学校文化連盟吹奏楽専門部

共催：長野県

後援：長野県教育委員会

2 開催期日等

大会区分	部 門	開 催 期 日	会 場
東北信地区大会	A部門	令和7年8月2日(土)	ホクト文化ホール 大ホール
中南信地区大会	A部門	令和7年8月2日(土)	長野県伊那文化会館 大ホール
県 大 会	A部門	令和7年8月8日(金)	ホクト文化ホール 大ホール
	B部門	令和7年8月9日(土)	ホクト文化ホール 大ホール
東海大会	A部門	令和7年8月24日(日)	アクトシティ浜松(静岡県)
	B部門	令和7年8月24日(日)	ホクト文化ホール(長野県)
全国大会	A部門	令和7年10月19日(日)	宇都宮市文化会館(栃木県)

3 参加資格等

- (1) 参加資格は、原則として、全日本吹奏楽コンクール実施規定に準ずるものとする。
- (2) A部門とは、編成校数に制限はなく、指揮者を除き、演奏者が55人までの編成が出場する部門をいう。なお、A部門でも合同バンドが認められている。合同バンドで出場した場合、東海大会への代表権は有するが、全国大会への代表権は有しない。
- (3) B部門とは、編成校数に制限はなく、指揮者を除き、演奏者が30人までの編成が出場する部門をいう。B部門は、部員数が少なく楽器が不足しており課題曲の演奏が困難だが、コンクールに参加して、音楽の喜びを味わいたいと願う学校のために、東海吹奏楽連盟独自に設けられた部門である。(東海吹奏楽連盟より)
- (4) 演奏者は、本専門部に加盟した高等学校の生徒であるとともに、本年度の長野県吹奏楽コンクールの他部門に出場していない生徒であること。ただし、同一経営の学校の中学校生徒は、当該演奏者に加わることができる。
- (5) A部門及びB部門における上部大会への出場校の選出は、当該大会の直下の大会で行う。
- (6) 指揮者は、出場する高等学校の職員でなければならない。
- (7) (6)について、当該高等学校長から、参加申込み以前に、この内容を満足することができない旨の書類が、本専門部会長あて提出された場合は、理事会は、当該高等学校に関する(6)の適用について、その適否を決することができる。

4 演奏形態の制限等

- (1) A部門は課題曲と自由曲を演奏し、B部門は自由曲のみを演奏する。
- (2) エレキベース、サイレント・ベース等の電子楽器は使用できない。
- (3) ピアノを使用することができる。ピアノの配置は上手とする。
- (4) 課題曲、自由曲ともに、同一指揮者及び同一演奏者でなければならない。
- (5) 課題曲は、全日本吹奏楽連盟が指定した次の4曲とし、その中から1曲を演奏する。これらの課題曲を自由曲として演奏することはできない。

I	祝い唄と踊り唄による幻想曲(第34回朝日作曲賞受賞作品)	杉山 義隆
II	ステップ、スキップ、ノンストップ(順次進行によるカブリッチョ)	後藤 洋
III	マーチ「メモリーズ・リフレイン」	伊藤 士恩
IV	Rhapsody ~ Eclipse	大島ミチル
- (6) 課題曲の演奏に際しては、オプションを除く全てのパートが揃っている場合はいかなる変更も認めないが、オプションを除くパートに不足があったり、指定された楽器がない場合はその限りではない。詳細は、全日本吹奏楽連盟のウェブサイトの上部メニュー内にある「課題曲」のページに記載があるため、確認すること。
- (7) 自由曲の演奏で、歌詞をつけて歌うことはできない。(スキヤット、ヴォカリーズは認める。)
- (8) ステージ上にハープやコントラバスなどの台・反響板等を持ちこむことはできない。
- (9) 著作権法に違反することがないよう留意する。

5 演奏順・演奏時間等

- (1) 演奏順番は、理事会で抽選により決定する。
- (2) 演奏制限時間は、A部門が12分以内、B部門は7分以内とする。
- (3) 演奏時間の計測は、A部門は課題曲の演奏開始から自由曲の演奏終了までとする。
B部門は、自由曲の演奏開始から演奏終了までとする。
- (4) 演奏時間が演奏制限時間を超えた場合は、失格とし、審査対象とはしない。

6 審査員及び審査方法

審査員は以下の通りである。また、審査は別に定める審査規程に基づいて行う。それぞれの大会の開催前の4ヶ月の間には、当該審査員の講習等による指導を受けてはならない。

(敬称略)

東北信 地区大会	齊藤 匠 (元東京フィルハーモニー交響楽団 フルート奏者)	下島 昌史 (元東京フィルハーモニー交響楽団 トロンボーン奏者)
	齊藤 忠彦 (信州大学教育学部 教授)	二宮 和弘 (洗足学園音楽大学講師 サクソフォン奏者)
	篠崎 智 (打楽器奏者)	湯本 正芳 (飯田市教育委員会 教育次長)
	清水 慶一 (伊那市立長谷中学校 校長)	

中南信 地区大会	石川 武 (上田市立神科小学校 校長)	神田 将吾 (クラリネット奏者)
	大房 美穂 (武蔵野音楽大学 講師 ユーフォニアム奏者)	深町 浩司 (愛知県立芸術大学 教授 打楽器奏者)
	金井 弘 (東御市立東部中学校 教諭)	降旗 信一 (松本工業高校 講師)
	ガルシア 安藤 真美子 (東京佼成ウインドオーケストラ トランペット奏者)	

県大会	大山 智 (尚美ミュージックカレッジ専門学校講師 ユーフォニアム奏者)	丸田 悠太 (東京佼成ウインドオーケストラ フルート・ピッコロ奏者)
	杉山 智恵子 (東京吹奏楽団 東京芸術大学講師 打楽器奏者)	阿部 磨 ※8日のみ (国立音楽大学講師 ホルン奏者)
	田中 美佳子 (東京吹奏楽団 クラリネット奏者)	大津 立史 ※8日のみ (シエナウインドオーケストラ サクソフォン奏者)
	服部 孝也 (昭和音楽大学准教授 トランペット奏者)	

7 表彰及び代表校の決定等

- (1) 金賞、銀賞及び銅賞のいずれかを授与して表彰をする。
- (2) 地区大会出場校には賞状を授与する。
- (3) 県大会では賞状を授与するとともに、長野県代表となる出場校にカップを授与する。
- (4) 県大会のA、Bの各部門の最も優れた演奏団体に、朝日新聞長野総局賞を授与する。受賞した出場校には、賞状を授与するとともに、副賞として賞牌を贈る。
また、特別賞として、以下の団体に「奨励賞」を授与し、表彰をする。
 - ・A部門各地区大会において、39名以下の出場団体のうち、最高得点を獲得した学校（ただし地区代表となった学校は対象外）。
 - ・B部門県大会において、15名以下の出場団体のうち、最高得点を獲得した団体。
- (5) 代表校は、別に定める規程に基づき、各大会の審査員の推薦を経て決定する。

- (6) A部門の県大会出場数の上限は18とする。県大会出場校枠数は、各地区の参加校数により比例配分して算出するが、前年度に東海大会に出場した学校が所属する地区は、その校数を参加校数に加算して算出する。ただし、前年度東海大会に出場した学校のエントリーがなかった場合、当該校分の加算は行わない。
- (7) 県大会から東海大会へ出場する代表数は、別途通知する。

8 参加申込み手続き等

- (1) 参加申込みは、長野県吹奏楽連盟ウェブページ (<https://www.ajba.or.jp/nagano/index.htm>) にアクセスし、手続きを行う(「コンテスト申込」をクリック)。申し込みのパスワードは「_____」である。
- (2) 複数校合同で参加する場合もすべての学校が申し込み手続きを行なう。
- (3) ウェブ申し込み時に金額及び振り込み日(振り込み済み・予定、どちらでも可)を、「振込金額」「振込日」欄に記載すること。
- (4) 手続き送信後、入力したメールアドレスあてに申し込み内容が添付されたメールが自動返信される。確認できない場合は、メールアドレスが正しく入力されていない可能性があるので注意すること。
- (5) 返信されたメールの添付ファイル(参加申込書)をプリントアウトして、校長欄に職印を押印した後、次の(6)で作成した書類とともに、指定された期日までに郵送する。
なお、プリントアウトしたときに、入力ミス、記入漏れ等の不備が判明した場合は、プリントアウトした文書に、朱書で加筆訂正をして提出をすること。
- (6) プログラム作成のため、自由曲の作・編曲者、出版社及び曲目が確認できるスコアの写しを、A4サイズ1枚に作成して提出する。

※提出書類確認※

- (5) 参加申込書(返信されたメールの添付ファイル)
- (6) 自由曲のスコアの写し

(7) 書類提出期限等

ア 申込提出期限 **令和7年6月17日(火)必着。**

イ 提出先

A部門 東北信地区 〒386-0018 上田市常田3-5-68 上田東高等学校内 高文連吹奏楽専門部 東信地区代表理事 依田 翔
A部門 中南信地区 〒399-1501 下伊那郡阿南町北條2237 阿南高等学校内 高文連吹奏楽専門部 南信地区代表理事 上原 由起美
B部門 全県 〒387-8501 千曲市屋代1000 屋代高等学校内 高文連吹奏楽専門部 専務理事(コンクール担当) 滝沢 裕基

- (8) 参加申込書を受理後は、原則として参加申込書記載内容を変更することは認めない。
- (9) 申込書に記載された個人情報については、大会運営に関する目的以外に使用しない。また、指揮者名をプログラムに記載することを了承するものとする。

9 参加費、入場料、プログラムについて

- (1) 参加費は地区・県大会ごとに、演奏者1人あたり2,000円とする(プログラム代込)。楽器等の搬入・搬出をステージ等で補助する出演高等学校の生徒(以下「演奏補助員」という)は1人あたり1,500円とする(プログラム代込)。
- (2) プログラムは学校長と顧問向けに3部無料で配布する。
- (3) 全部門とも令和7年6月17日(火)までに、参加人数分(演奏者数+演奏補助員数)の参加費を同封の振込用紙で指定口座に振り込むこと。
- (4) A部門県大会出場校は、地区大会事務局より所定の振込用紙を受け取り、令和7年8月5日(火)までに、所定の参加費を指定口座に振り込むこと。
- (5) 次の振込先に同封の振込用紙を用いて振り込むこと。(記入方法は振込用紙を参照する。)

ゆうちょ銀行 口座番号: 00550-7-65145 加入者名: 長野県高等学校文化連盟吹奏楽部会

- (6) 参加費納入後に参加生徒数が減った場合の差額返金は、いかなる場合も行わない。なお、コンクール自体が中止になった場合は、諸経費の支払いが済み次第、残金を全て返金する。
- (7) コンクール参加に係る費用は、参加する高等学校の負担とする。なお、ピアノ使用料と著作権使用料については、吹奏楽専門部が負担する。
- (8) 入場料金は、地区大会及び県大会ともに、高校生以上 2,000 円・中学生 1,000 円（それぞれプログラム代込）、小学生以下無料とする。

10 顧問会の開催

コンクール運営は、コンクールに参加する全ての学校の顧問により行うため、次のとおり、顧問会をハイブリッド形式により開催する。

正顧問が参加できない場合は、必ず代理者が参加すること。

なお、Zoom の ID およびパスコードは、後日担当理事より、通知する。

部門	大会	開催期日	開始時刻	会 場 (担当理事)
A部門	東北信地区	令和 7 年 7 月 8 日 (火)	15:30	上田東高校 (依田翔)
	中南信地区	令和 7 年 7 月 8 日 (火)	15:30	豊科高校 (上原由起美)
B部門	全県	令和 7 年 7 月 15 日 (火)	13:30	あがたの森文化会館 2-7 (滝沢 裕基)

11 問合せ先

〒387-8501 千曲市屋代1000 屋代高等学校内
 高文連吹奏楽専門部専務理事（コンクール担当）滝沢 裕基
 TEL 026-272-0069 FAX 026-261-3450 E-mail : y-k03@m.nagano-c.ed.jp